

医療介護連携研修会



詳細はこちら

医療や介護関係者等を対象に、医療と介護の連携等について学びあう研修会を4回開催しました。

第1～3回は医療と介護の連携した対応が求められる4つの場面のうち「急変時の対応」、「入退院支援」、「看取り」をテーマに、第4回は「医療・介護DX」をテーマに実施しました。まちなか診療所の三浦医師がコーディネーターを務め、多職種連携について考えました。

4つの場面

第1回「急変時の多職種連携について考える」7月24日(木) 110名(うちオンライン参加62名)

講義「急変時の多職種連携について学ぶ」
まちなか診療所 管理者 三浦 太郎 医師
講義「救急の立場から多職種連携を考える～マイナ救急について～」
富山市消防局 警防課 主幹 周治 忠雄 氏
話題提供「高齢者福祉施設と救急隊の連携体制構築に向けて」
富山市消防局 大沢野消防署 消防士 深井 亮汰 氏

急変時とはどのような状態か学べた。
マイナ救急について初めて知った。
救急隊はどのような情報が必要か確認できた。
現場の声を聴けて良かった。

第2回「在宅療養者の入退院支援～病院の機能・特徴を知り、より良い連携につなげる～」8月27日(水) 105名(うちオンライン参加49名)

講義「入退院支援における医療介護の連携」
富山県立大学 看護学部 在宅看護学 講師 北林 正子 氏
話題提供「急性期病院における入退院支援の実際」
富山赤十字病院 患者支援センター 看護師長 加藤 真理子 氏
話題提供「地域包括ケア病床における入退院支援の実際」
横田記念病院 地域連携室 主任・医療ソーシャルワーカー 笠木 悠史 氏

病院の機能や入退院支援の流れ・プロセスを整理できた。
本人の自己決定を支えていくことの大切さを再認識できた。
電話でしか話をしない方と直接会って意見交換できた。
悩みや困りごとを共有できた。

第3回「最期まで自分らしく生きることを支援するために～専門職の役割と連携を考える～」9月25日(木) 74名

講義「看取りの場面における多職種連携」
まちなか診療所 管理者 三浦 太郎 医師
話題提供「専門職の役割と連携～訪問看護師の視点から～」
訪問看護ステーションなないろ 管理者 毛利 裕子 氏
話題提供「専門職の役割と連携～地域包括ケア病棟の実際～」
富山西総合病院 地域サポートセンター 総合相談室 社会福祉士 丸山 順子 氏

チームで関わり、情報共有することの大切さを実感した。
最期をどのように過ごしたいか意向を丁寧に確認していこうと思った。
家族の意向や介護を適宜確認することが大切だと思った。
各職種の役割があり、立場が違っても自分は何ができるのか考えさせられた。

医療・介護DX

第4回「DXによって変わる、医療と介護の連携」2月4日(水) 47名(うちオンライン参加28名)

○報告・体験展示会
報告「中山間地域オンライン診療・服薬指導実証実験報告」
おおよま病院 院長 日置 将 氏
オンライン診療のデモ体験(協力:株式会社スキル)
服薬支援のためのロボット展示(協力:明祥株式会社)
○研修会
講義「DXによって変わる、医療業界」
日医工株式会社 DX事業推進グループ長 吉岡 大二郎 氏
話題提供「医療DXで変わる!～医療機関における取組～」
真生会富山病院 DX推進室室長 佐々木 彰一 氏
話題提供「介護DXで変わる!～デジタルで、もっと人に向き合う介護を～」
介護老人保健施設みどり苑 DX推進委員長 北野 幸司 氏

通院困難な方にとってオンライン診療は有効だと感じた。
医療DXの国の方向性など納得できた。
現場での医療DXの実例を知る貴重な機会だった。
働きやすい環境の構築、人手不足への対応等、ポジティブな視点を得られた。
介護現場でのデジタルツールの活用による業務の効率化でゆとりが生まれ、個別ケア、リハビリ等、充実した介護が可能となること分かった。



富山市医療介護連携情報

Vol.9

【編集・発行】

富山市まちなか総合ケアセンター 医療介護連携室
〒930-0083 富山市総曲輪四丁目4番8号
TEL 076-461-3618 FAX 076-461-3604
URL https://machinaka-care.city.toyama.lg.jp



みんなで支える“いのち”と“暮らし”

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が更に増えると想定される中で、多職種の連携がより一層重要となっています。富山市では、医療や介護が必要になっても可能な限り住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療や介護等を一体的に提供できる体制の構築に取り組んでいます。

多職種協働による在宅医療・介護の連携推進に向けて

富山市における令和7年度在宅医療・介護連携推進事業の取り組みをご紹介します。

目指す理想像 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

現状分析・課題抽出・施策立案(Plan)

1 地域の医療・介護の資源の把握	[医療・介護資源把握調査] 地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集し、リストやマップをホームページ上で公開	→ 2 ページへ
2 在宅医療・介護連携の課題抽出	[富山市医師会エリア会議] 市内を5エリアに分け地域ごとの医療や介護の課題の抽出と対応策を検討 [富山市在宅医療・介護連携推進協議会] 医療・介護が連携して地域を支えるための方策、新たな課題への対応策の検討、取組の進捗管理、評価	
3 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	[まちなか診療所による在宅医療の推進] [地域包括支援センターによる在宅復帰支援] [病院等看護師在宅医療体験実習](富山県看護協会) [在宅医療消耗器材共同購入システム][医療機器貸出システム](富山市医師会)	

対応策の実施(Do)

4 在宅医療・介護関係者に関する相談支援	[在宅医療・介護連携相談窓口] [医療介護連携情報誌の発行]	
5 地域住民への普及啓発	[市民向けの研修][出前講座] 医療と介護の市民公開講座やレガートスクエア文化祭、出前講座等で在宅医療について市民へ啓発	→ 3 ページへ
6 医療・介護関係者の情報共有の支援、研修などの医療・介護関係者の支援	[医療介護連携研修会] [介護予防のための地域ケア個別会議] [医療介護連携推進会議](地域包括支援センター) [救急搬送時の情報提供書の活用推進]	→ 4 ページへ

対応策の評価・改善(Check・Act)

令和7年度 富山市在宅医療・介護連携推進事業の取り組みをご紹介します

地域の医療・介護の資源の把握

地域の医療や介護に関する資源の把握を行い、マップやリストを作成しています。



ぜひご利用ください



まちなか総合ケアセンターのホームページ上で公開しています。



介護・訪問看護・地域包括・薬局等の分類を指定します。更に事業所分類や地区等、様々な条件を指定できます。



事業所名をクリックすると詳しい情報を見ることができます。

まずはこちらをクリック

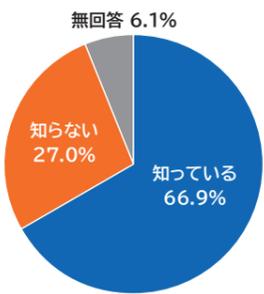


◆多職種で支える地域の在宅医療 ～急変時の対応～

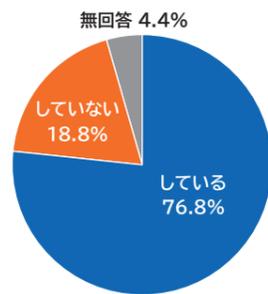
医療と介護等の連携における課題を把握するため、アンケート調査を実施しました。

調査期間：令和7年12月～令和8年2月
対象事業所：市内介護保険事業所など
回収 792/1046事業所（回答率 75.7%）

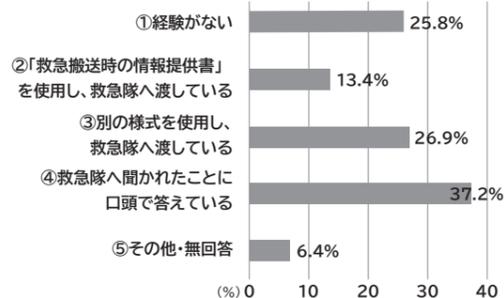
Q 本人・家族は、急変時の連絡先や対応方法を知っていると思いますか？



Q 急変時の連絡先や対応方法を他の職種（医療介護関係者）と共有していますか？



Q 救急隊へ情報提供の際、どのような方法で情報提供していますか？（複数回答あり）



インタビュー 119番通報後の救急隊員とスムーズに連携するための行動・準備について、富山市消防局へお聞きしました



大沢野消防署 深井消防士

救急要請時の対応として、以下のようなことをしていただくと大変助かります。
・情報提供書(※)やお薬情報を事前に準備してくれている
・発見時の状況等を簡潔に説明してくれる
・患者さんのいる場所まで誘導してくれる

(※)救急搬送時の情報提供書～急変時の備えに～
救急搬送時、救急隊員など関係者との円滑な情報提供のためのツールとして、参考にご活用ください。

救急搬送時の情報提供書(参考様式)



令和7年10月から全国一斉開始
マイナ救急とは？

救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、過去の受診歴や薬剤情報等を把握し、より円滑に医療機関を選定し搬送するための取り組みです。もしもの時に備えてマイナンバーカードを持ち歩きましょう。



警防課 周治主幹

地域住民への普及啓発

“食べる”を考える

地域住民や在宅医療・介護の関係者を対象に、医療と介護の市民公開講座を3回シリーズで開催しました。

- 第1回「在宅での食生活～食べる力に合わせて、安全においしく食べる工夫～」11月14日（金）
明祥株式会社 管理栄養士 杉谷 陽菜 氏
株式会社大塚製薬工場 NR・サプリメントアドバイザー 小島 真人 氏
- 第2回「訪問歯科について知ろう～食べる力・噛む力を支える歯科診療～」11月21日（金）
富山花園歯科 院長 平木 圭佑 氏
- 第3回「いつまでも自分の歯で食べるために～口腔ケアのポイント～」11月28日（金）
歯科衛生士 開発 章子 氏

インタビュー

訪問歯科について気になることを、歯科医師にお聞きしました

私がお答えします！

Q 訪問歯科は誰でも受けられるの？

訪問歯科の対象は疾病や傷病により通院困難な方です。歯科医師が個々の症例ごとに往診・訪問診療が可能か適正に判断しています。訪問歯科診療を受けたい場合は、かかりつけ歯科医院にご相談ください。

Q 訪問歯科でできることは？

むし歯・歯周病治療、入れ歯の調整・修理・新製、抜歯など外来で行うような基本的な歯科治療は訪問歯科で対応可能です。他にも口腔機能低下症の評価、摂食嚥下の評価・リハビリテーション、専門的口腔ケアもできます。



富山花園歯科 平木院長

※かかりつけ歯科医院がない場合は、「富山市歯科医師会ホームページ」の歯科訪問診療協力歯科医院リストを参考にしてください。

豆知識

交通事故よりも多い窒息事故

窒息は咀嚼機能、嚥下機能、認知機能の低下が原因です

窒息事故を防ぐために

- ✓ 食品の特性や安全な食べ方を知る
- ✓ 食べやすい大きさにして一口量を多くしない
- ✓ よく噛み、唾液と混ぜ合わせる
- ✓ 食べることに集中する
- ✓ 口の奥に押し込まず、手前に取り入れる
- ✓ 食べている途中で上を向かない
- ✓ 食べるときは、誰かそばにいて見守る



考えてみよう、在宅医療のこと

総曲輪レガートスクエア文化祭2025にて、市民公開講座や展示、栄養補助食品の試飲を行いました。

市民公開講座



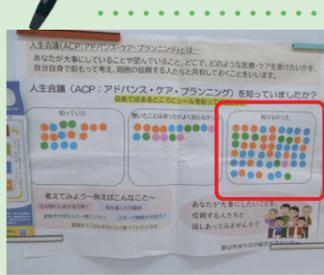
小林医院 小林 直子院長に
住み慣れた地域で受けられる医療の実際などについて、クイズをまじえてご講義いただきました。

展示・試飲



11月1日（土）
来場者 346名
様々な年代の方が大勢
来場されました

人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)を知っていますか？



人生会議の日（11月30日）に合わせ、「医療と介護の市民公開講座」や「総曲輪レガートスクエア文化祭」等で、参加者に人生会議についてお聞きしました。

「知らなかった」人は全体の約6割でした。まだまだ認知度は低いです…。これからも啓発していきます！

人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）とは…
あなたが大事にしていることや望んでいること、どこで、どのような医療・ケアを受けたいかを自分自身で前もって考え、周囲の信頼する人たちと共有しておくことをいいます。